

# 新発田市における 小児のアレルギー性疾患保有状況

出典	新潟県立新発田病院医誌 5 巻 1 号 Page6-9(1999. 11) ( <a href="http://search.jamas.or.jp/link/ui/2000122395">http://search.jamas.or.jp/link/ui/2000122395</a> )
著者	田口哲夫 他
調査地域	新潟県新発田市
調査時期	1992 年
調査対象	幼稚園児、小学生、中学生
依頼数	9684 人 (幼稚園児 : 403 人、小学生 : 5961 人、中学生 : 3320 人)
回収数 (率)	9221 人 (95%) 幼稚園児 : 380 人 (94%)、小学生 : 5780 人 (97%)、中学生 : 3061 人 (92%)
診断方法	医師によりアレルギー性疾患と言われたことがありますか、に「はい」と回答

学年別有症率	アレルギー性鼻炎	花粉症
4 歳児 :	9. 4%	0. 6%
5 歳児 :	10. 6%	0. 5%
小学 1 年生 :	16. 0%	1. 2%
小学 2 年生 :	15. 4%	1. 8%
小学 3 年生 :	19. 2%	1. 5%
小学 4 年生 :	15. 6%	1. 3%
小学 5 年生 :	23. 7%	3. 7%
小学 6 年生 :	20. 3%	2. 9%
中学 1 年生 :	23. 7%	3. 1%
中学 2 年生 :	18. 5%	5. 0%
中学 3 年生 :	17. 6%	4. 1%

何らかのアレルギー性疾患の有病率 : 45% (幼稚園児 : 48%、小学生 : 47%、中学生 : 40%)

## 地域別データ比較

(地域)	(調査時期)	(調査対象)	(アレルギー性鼻炎有症率)
新発田市	1992年	幼稚園児	9.9%
		小学生	18.5%
		中学生	20.0%
東京都豊島区	1984～1985年	0～5歳	5.2%
東京都大島	1981年	2歳～中学生	23.7%
島根県	1990年	0～6歳	3.9%
中国郊外	1992年	12～20歳	2.7%
ノルウェー	1993年	7～12歳	20.6%

## 調査概要

新発田市の幼稚園から中学生までのアレルギー疾患の調査論文。

約40%が何らかのアレルギー疾患を有し、アレルギー性鼻炎、花粉症は高年齢で有症率が高くなっていた。